

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(54) REMOVAL OF SUBSTANCE ADEHRED TO RADIATOR

(11) 61-86598 (A) (43) 2.5.1986 (19) JP

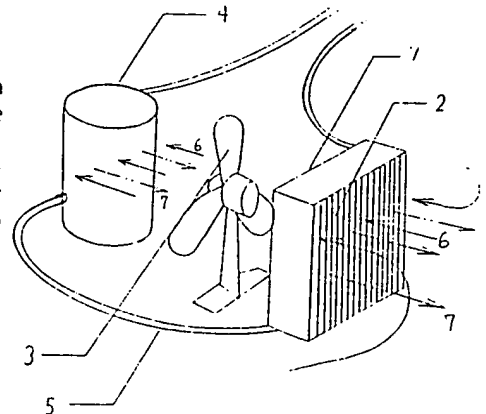
(21) Appl. No. 59-206923 (22) 2.10.1984

(71) NOBUMICHI KAIEDA (72) NOBUMICHI KAIEDA

(51) Int. Cl. F28G1/16

PURPOSE: To remove the substance adhered to the radiator by a method wherein a fan motor is rotated in reverse to the rotation in normal time to generate air flow reverse to the same in normal time.

CONSTITUTION: A fan motor is rotated in reverse to the normal rotating direction thereof to rotate a fan 3 when the system is idle (upon defrosting, for example.) or in a proper time band during operating the system in order to generate airflow 7, whereby the substance adhered to the fin 2 of the radiator is removed. When the direction of airflow of the fan is changed periodically, the substance adhered to the radiator is removed therefore, decrease of heat radiating effect and increase of electric power consumption, generated by the lamination of the deposite, may be prevented.



⑫ 公開特許公報(A) 昭61-86598

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)5月2日

F 28 G 1/16

6748-3L

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称、放熱器への吸引付着物の除去方法

⑯ 特 願 昭59-206923

⑰ 出 願 昭59(1984)10月2日

⑱ 発 明 者 海 江 田 展 通 福岡市中央区輝国2丁目13番5号

⑲ 出 願 人 海 江 田 展 通 福岡市中央区輝国2丁目13番5号

明 細 書

1. 発明の名称

放熱器への吸引付着物の除去方法

2. 特許請求の範囲

冷凍、冷却、暖房システム(以下システムという)において、放熱器、ファン、及びコンプレッサーから成るか、又はファンといずれかの組合せから成る装置で、システムの各目的の為に運転時(以下、稼働時という)以外の時間帯(以下、アイドル時という)、もしくは稼働時の適当な時間帯に、ファンモーターを通常時の逆方向に回転させて、ファンを回し、通常時と逆方向の風を生ぜしめ、放熱器への吸引付着物を除去する方法。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、放熱器へ吸引された付着物を除去する方法に関する。

従来、冷凍、冷却及び暖房装置等において放熱器1及びコンプレッサー4を強制冷却するためにファン3が使用されているが、放熱器には稼働時に風向6が常時、流れ、長期使用の結果、吸引された付着物が放熱器のフィン2に積層され、放熱効果を著しく低下させているばかりか、冷却不良の為、冷媒温度が著しく上昇し、これが原因で、コンプレッサーの故障にもつながり、システムの寿命を縮めるという欠点があった。

これを防ぐ、唯一の方法は、定期的に放熱器のフィン2を清掃する事であるが、実際には放塵されている場合が殆んどであり、特に夏場にシステムの故障が頻発しているのが現状である。

この発明は、従来、一定方向にしか、回転させていないファンモーターを、システムのアイドル時(例えば霜取時等)、もしくは稼働時の適当な時間帯に、通常時の逆方向に回転させて、ファン3を回し、風向7を生ずる

事によって、フィン2への付着物を除去する事を目的とする。

この発明によれば、定期的に風向を変える事によって、付着物が除去されるため、従来付着物が長期間の間に積層する事によって生じる放熱効果の低下がなく、又、これに伴う、消費電力の増加も防がれるという特徴を有し、さらに、従来のアイドル時にも、逆方向ながら、ファンが回転しているため、放熱器とコンプレッサの冷却が行なわれるという利点をも有し、システムの耐用年数を延ばすと共に、信頼性をも高めるという特徴を有している。

4. 図面の簡単な説明

図は、この発明の斜視図を示す。

- 1…放熱器、 2…フィン、 3…ファン
4…コンプレッサ、5…冷媒通管
6…稼動時の風向、7…この発明の風向

特許出願人 海江田 展 通

